

令和3年度

虹の坂通信



呉市立昭和南小学校
学校通信 第30号
令和4年2月21日

ここまでできるように

また、まん防が延長になってしまいました。ご家庭でも不自由を感じておられると思いますが、学校生活も安全第一で工夫に工夫を重ねてがんばっているのが実情です。子どもたちは、その中でも文句も言わず、できることに精一杯に取り組んでいます。子どもたちのその姿に私たちは救われています。

私たちの工夫の一つがタブレットです。例年、青空朝会で各学年の縄跳びを紹介していました。今年は集まらないため、各学年で動画を撮り、それを編集して各教室で観ました。すごい技が出ると「うおーっ。」と教室から声が聞こえてきました。6年生は、食育の授業を、昭和中央小とオンラインでつないで行いました。森川栄養教諭が、中央小から指導をしてくれました。6年生もタブレットを自在に使いこなし、新しい授業の形を観た気がしました。

4月のスタートを思うと、よくぞここまで使えるようになったと職員の努力もすごいものです。子どもたちもがんばっている。職員もがんばっている。それが今の南小です。

きれいな学校に

子どもたちが一日の多くの時間を過ごす学校。気持ちよく生活してほしいというのが私たちの気持ちです。

これまでも、木の伐採や靴箱の塗り替え、虹の坂の白線引き、PTAには、教室のカーテンを新しい物に替えていただきました。少しずつですが、着実にきれいな学校になってきています。

3学期には、鉄棒など運動場のすべての遊具の色の塗り替え、卒業式で使う体育館の壁の修理を行っています。業務主事の柳迫主事の積極的な働きのおかげです。私は、週に1回程度、学校の外回りのゴミを拾って歩きます。結構、学校から飛んで出た枯れ葉や紙くずが落ちています。学校の中は、子どもたちが掃除をがんばっています。



みんな真剣にみえています



ぼくの意見が中央小にとどいた



温かい色で塗り直しました



木が朽ちて穴だらけでした